

平成22年度  
教育委員会の予算

区全体の予算(845億2,300万円)の  
9.15%

77億3,439万5千円

施策別内訳

主な取り組み

子育て支援と幼児教育

幼保一元化施設 山谷かきのみ園 の運営 (1億900万円)

安全で安心な保育環境を整備し、子育て支援と幼児教育を連携していきます。(詳細は2ページをご覧ください。)



園児1人当たり  
60万5千円  
(人件費を除く)

教育環境の整備

学校施設の整備 (小学校 7億4,600万円)  
(中学校 1億5,300万円)

児童・生徒にとって安全で安心できる教育環境を維持するため、計画的に学校施設の整備を行い、充実させていきます。

【工事の一例】

校庭人工芝張替工事 神南小、幡代小、上原小  
校庭天然芝化工事 富谷小、中幡小  
加計塚小



児童1人当たり  
42万9千円  
(人件費を除く)



未来を担う子供たちの育成

本町地区小中一貫教育校 の開設 (11億2,800万円)



▲共用校舎での部活動の様子

本町小学校、本町東小学校、本町中学校を母体校とする小中一貫教育校を、平成24年4月に、旧本町中学校校地に開設します。義務教育9年間をひとつの連続した期間として、一貫した教育をめざします。

生徒1人当たり  
49万8千円  
(人件費・建設費を除く)



図書館の整備

新中央図書館ほか3図書館 の開設とICタグの導入 など(3億8,600万円)

中央図書館の移転新築ほか3館の開設(詳細は6ページをご覧ください。)など、図書館の整備を進めます。また、全館の資料にICタグを貼り付け、貸出手続きなどのスピードアップを図ります。

※ICタグとは、シールラベルなどの形状のものにICチップと小型のアンテナを埋め込んだものです。そこに記憶された情報を電波によって直接触れずに読み取ることができます。

11月オープン!

こども科学センター・ハチラボ の運営 (1,900万円)



▲ハチラボのイメージ

文化総合センター大和田内にオープンする「こども科学センター・ハチラボ」では、科学や技術、数学分野に対する子供たちの興味と関心を高め、創造性を育みます。また、小・中学校の理数教育支援の拠点としていきます。

※ハチラボは、ハチ公と理数教育重点校鉢山中の「ハチ」、ラボラトリー(実験室)の「ラボ」を組み合わせたものです。

図書館、美術館、博物館、社会教育館の運営などの経費

地域に開かれた学校づくり

コミュニティ・スクールの導入

保護者・地域住民・教職員などによるコミュニティ・スクールを取り入れ、地域の実情に応じた、地域に開かれ信頼される学校づくりを実現していきます。

スポーツ施設の運営などの経費

1.94%
小学校教育 のための予算 22億6,582万7千円
29.29%
中学校教育 のための予算 19億3,183万9千円
24.98%
社会教育 のための予算 19億9,594万3千円
25.81%
社会体育 のための予算 9億3,639万4千円
12.11%
その他の予算 4億5,431万5千円
5.87%